

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 下顎埋伏智歯抜歯におけるオトガイ神経麻痺の遷延化因子の検討

[研究責任者] 岡崎市民病院 医局 歯科口腔外科 統括部長 齊藤輝海

[研究の背景]

下顎埋伏智歯抜歯の併発症であるオトガイ神経麻痺は、患側の下唇を中心に足がしびれた時のような知覚異常を呈するため、同部の違和感や不快感が出現し、時に口唇の咬傷の原因となることがあります。医療者側もこの併発症をおこさないように細心の注意をはらって抜歯操作を行います。時には避けられないこともあります。一般的にオトガイ神経麻痺は一過性のことが多く、ほとんどの症例は数か月で回復します。その回復は、発症から6か月までは顕著に回復しますが、6か月以降では症状改善が緩やかになるとされ、中には遷延化する症例もあります。

オトガイ神経麻痺の発生に関する研究報告は多いが、遷延化因子を検討した報告は少ないのが現状です。オトガイ神経麻痺遷延化の因子を明らかにすることで患者様の QOL に貢献することはもとより、医療者にとっても術前からオトガイ神経麻痺の遷延化が予測可能となり、患者様への説明や予防対策などに貢献するものと考えられます。

[研究の目的]

オトガイ神経麻痺の遷延化に影響を与える因子について検討を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2014 年 10 月 1 日から西暦 2023 年 9 月 30 日の 10 年間に当院で下顎埋伏智歯抜歯を行いオトガイ神経麻痺を発症し、その治療を行った方

●研究期間：西暦 2024 年 7 月 1 日から西暦 2025 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、部位、画像検査所見、臨床経過、機能検査所見

検体：画像検査（通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。）

カルテ情報：年齢、性別、部位、画像検査所見

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

岡崎市民病院 歯科口腔外科 齊藤輝海

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913